

山の自画像から山の肖像へ

みょうぎ 102 えんなーれ！

—山の肖像—

Myoghi 102ennale!

妙義102エンナーレ！

What is Landscape portrait...

—山の肖像とは。—

妙義102エンナーレ！ —『山の肖像』—

出品作家：島州一、豊田一男
大竹夏紀、温井大介、山崎美季

会期：3月10日（火）～3月28日（土）

march 10th to 28

Kuniichi SHIMA Kazuo TOYODA Natsuki OTAKE Daisuke NUKUI Miki YAMAZAKI

趣旨：

昨年度、「山の自画像」として新たに展示を展開した妙義エンナーレ！。今年度は「山の肖像」として、山自身が持つ魅力、キャラクター、そして「崇高」という、ロマン主義の概念を本展で探っていきます。山は風景として、そして時には信仰の対象として人々に親しまれてきました。昨年度の「妙義101エンナーレ！」で、山を主体としてそれを考えた時、慣れ親しんできた「山」という概念の転換が起こりました。「ピクチャレスク（絵になる風景）」は美しく、人々は喜ばれ慣れ親しまれていますが、山として、それは本来の姿であるか、というのは我々には分からないところです。よくよく考えれば地面の隆起をわざわざ「山」として定義し、認識するのは何故か、という疑問も湧いてきます。妙義山を描きにきた香川県の画家・猪熊弦一郎の考えにヒントがあるように感じます。彼は母校である丸亀高校講堂に飾るに相応しい絵は「山と海」である、と後輩である白川一郎との相談の末決め、白川一郎は千葉県の犬吠埼（本展のメインビジュアルでもあります）を、そして自身は「地球の表面に大きく突出している立体から受ける其偉大な圧力感を強調した岩山を作り度い」として妙義山を描きました。「如何にも山らしい定席の山で」はない、山の象徴として山通の友人に勧められ選んだと言います。このように山をとらえ直していく中で「美術の地産地消」を目標に活動してきた本展にとって、山とはヴァナキュラー（その土地固有）な存在そのもの、象徴であるとも気がつきました。「崇高な対象はその容積において巨大で（中略）ごつごつとして野放図である」とは、イギリスの哲学者エドモンド・バークの言葉です。山が山らしく、崇高である為には、山の肖像とはどういった姿なのか。本展では、群馬県富岡市にゆかりの作家の他、「山は自身を包む衣服のようなものである」という独自の概念で長野県で山を描き続けた作家、島州一の作品を展示します。それぞれの作家が思い思いの山の「肖像」を捉え、表現しますが、それが絵画なのか、そして山の姿をしているのかは分かりません。それが「作家が感じた山の肖像」である、と楽しんでいただければ幸いです。「妙義102エンナーレ！」ご高覧ください。

～妙義エンナーレ！とは～
what's Myoghi ennale!
…妙義ビジターセンター（旧：妙義ふてい
さと美術館）で（ほぼ）毎年行なわれて
きた「美術の地産地消」を目指した展
当は、温井大介の個展と山、ロマン
の概念である『崇高』を元に展示
しています。『ピクチャレスク』（絵に
なる風景）からの脱却を目指して！



会場：富岡市妙義ビジターセンター

〒379-0201 群馬県富岡市妙義町妙義 1-5 tel:0274-73-2585



Myoghi Visitor center

富岡市妙義ビジターセンター

妙義エンナーレマンガ

「山の自画像から山の肖像画へ」

原作：温井大介 作画：山崎美季



一山の肖像ー Myoghi 102ennale! 妙義102エンナーレ!

会期：3月10日(火)-3月28日(土) 会場：富岡市妙義ビジターセンター
参加作家：島州一 豊田一男 大竹夏紀 温井大介 山崎美季

みよみよみよなイベント！

Myoghi Visitor center
富岡市妙義ビジターセンター

○みよみよみよなお山の肖像画！について語る 3月14日(土) 11:00~

ゲスト：頼黄田(妙義アートハウス)、山崎美季(草木屋)、温井大介(妙義エンナーレ！)
内容：さまざまな作家の視点から見たお山、山の肖像について語ります。 予約不要

○染めワークショップ「山の顔を刷る」 3月14日(土) 14:00~

講師：山崎美季・大竹夏紀
内容：天然染料で、山のキャラクター(肖像)をお山袋に刷り取ります！消しゴムスタンプなので、どなたでも簡単にご参加いただけます。
(小さいお子様等の場合、保護者の方のご同伴をお願いする場合等がございます)
参加料(材料費)：500円 予約不要 ※混雑している場合はお待ちいただく可能性があります。

○第2回 みよみよみよな山の絵コンクール！

内容：頼黄田さん(妙義アートハウス)を始め、さまざまな作家が名前や作風を伏せて、妙義山を描くコンクールに参加しています！
作品は妙義102エンナーレ！会場に展示されます！



《青々木万葉集》2024 温井大介



《夕焼け》2024 山崎美季



《夜に呼吸する妙義山》2024 大竹夏紀

関連イベント

○お香体験ワークショップ 3月3日(木) ※満員御礼！

講師：片山文恵(山伏)

○日本画体験 ワークショップ 3月21日(土) 10:00~12:30

講師：頼黄田(妙義アートハウス)
申し込み：fufukoala@gmail.com

○お山探索ワークショップ「お山に入る」3月1日(日)9:00~ (約3時間)

講師：片山文恵(山伏) ※先着5名まで
山伏|片山さんのご案内と共にお山に入ってお山のことを学びながら・感じながら妙義山奥之院を目指します。「山の肖像」を感じ取る為のワークショップ！
申し込み：myoghi@icloud.com ※要保険加入 お申し込み後ご案内します。